

令和7年度 岩国市立川下小学校 学校経営ビジョン

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる児童の育成

知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と、自ら課題を見出し、課題解決に粘り強く取り組むことのできる生きる力を身につけた児童の育成に努め、豊かな学びに育まれた一人ひとりのよさがかがやく学校をめざす。

2 めざす児童像

- よく考え よく学ぶ子 (意欲を持ち、進んで学ぶ子)
- 明るく 思いやりのある子 (互いに助け合い、励まし合う子)
- 夢を持ち 実行力のある子 (創造的で、活力がある子)
- からだを丈夫にきたえる子 (運動に親しみ、元気いっぱいの子)

3 チャレンジ目標

「あきらめず 希望をもとう 川下小」 (R 6年度末代表委員会で決定済)

4 学校経営方針

- (1) 学校教育目標の具現化に向けて、全教職員が一丸となり、信頼と協調を基盤にした豊かな学びの環境が整った学校づくりを推進する。
- (2) 人権尊重の精神に基づいて、児童一人ひとりが個を尊重し合い、豊かな人間性の育成をめざした学校づくりを推進する。
- (3) 地域の特色を生かして、家庭・地域と連携・協働した地域とともにある学校づくりを推進する。
- (4) 教職員が心身共に健康で、児童や教材と向き合う時間を創出し、やりがいや働きがいを生み出す働き方改革を進める学校づくりを推進する。

5 本年度の重点目標・重点項目

(1) 授業改善を進め、児童の主体的な学習の取組と、基礎的・基本的事項の確実な定着とその活用力を伸ばす学力の育成を図る。

- 研修・環境の充実
 - ・ 日本語指導教室の運営
 - ・ ユニット型研修
 - ・ 教科担任制の導入
 - ・ ICTの効果的な活用
 - ・ 国・県実施学力調査結果の共有
 - ・ やまぐち学習支援プログラムの活用
 - ・ 「学ばせ方チェックリスト」の活用
 - ・ 言語環境の整備(掲示等)
- 川下中学校区小中一貫教育の推進(小、小中の充実)
- 学校評価や授業評価の活用

(2) 児童一人ひとりの思いや願いを認め合い、高め合う集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む心の教育と特別支援教育の充実を図る。

- 積極的な生徒指導の推進
 - ・ 多様性や国籍等を大切に人権教育
 - ・ 基本的な校内生活習慣の徹底
 - ・ 課題共有と全校体制指導
 - ・ 短いスパンでの教育相談
 - ・ SC、SSW、子ども家庭課、児相等関係機関との連携
- 個々のニーズを的確に把握した特別支援教育の推進
 - ・ 通級指導教室の運営
 - ・ 児童理解の会の充実
 - ・ 通常学級における指導や交流学級での支援
 - ・ 職員研修の推進
- 道徳教育の推進(特別の教科道徳「考え議論する道徳」の授業実践の工夫・改善)
- 美しい豊かな環境づくりと絆を育む人間関係づくりの推進
 - ・ ていねいな言葉遣い
 - ・ あいさつ運動
 - ・ 縦割り班活動
 - ・ 清掃活動
 - ・ 花いっぱい活動

(3) 命に視点を当てた健康・安全教育の推進と危機管理体制の確立を図る。

- 体力の状況分析、体向上をめざした取組の計画的な実施
- 自分の命は自分で守ることのできる児童の育成
 - ・ 危険予測学習(KYT)の推進
 - ・ 避難訓練の計画的な実施
 - ・ 道路工事に伴う登下校時の安全
- 安心・安全な教育環境整備のための細かな安全点検の実施と整備

(4) 地域の特色を生かし、家庭・地域等と連携・協働した教育活動の充実を図る。

- 年2回の学校評価アンケートによるPDCA
- 地域学習の実践
- 積極的な情報発信
- 幼保小中連携・協働の推進
- コミュニティ・スクールの充実
- あったかネット(地域協育ネット)の充実
- 連携(家庭教育支援員、読み語り、入学時のサポーター、プール学習の見守り、中学生ボランティア等)